

# フランス

2022年11月17日  
海外調査部・パリ事務所

2021年の実質GDP成長率は、新型コロナウイルスに伴う移動制限措置の緩和の影響などから6.8%の大幅な伸びを記録した。貿易は輸出が前年比15.3%増、輸入が19.0%増とプラスの伸びを取り戻した。原油価格の上昇を受け鉱物性燃料の輸入が大幅増となった。対内直接投資は前年から約210億ユーロ増加した。戦略産業の保護を目的に外資審査制度の強化措置が延長された。対外直接投資額は前年比77.3%増となった。対日貿易額は輸出入双方で増加に転じた。日本からの直接投資および対日直接投資はともに引き揚げ超過を計上した。

## ■新型コロナ関連規制の緩和でGDPは危機前水準を回復

2021年の実質GDP成長率は6.8%と前年のマイナス7.9%から大幅に回復した。財貨・サービスの輸出は前年比8.6%増、輸入は7.8%増と、前年のそれぞれ17.0%減、13.0%減からプラスの伸びに転じ、純輸出はGDP成長率を0.1ポイント押し上げた。内需（在庫調整を除く）の寄与度は7.0ポイントと成長回復の原動力となった。民間最終消費支出は前年の6.8%減から5.2%増、国内総固定資本形成も前年の8.4%減から11.4%増と、前年から大幅に持ち直した。国内総固定資本形成のうち、民間設備投資が11.4%増、住宅投資が17.0%増、公共投資が2.7%増と、いずれもプラスに転じた。

2021年5月から段階的に始まった新型コロナ関連規制の緩和を受けて経済活動は正常化に向かい、GDPは2021年第3四半期に新型コロナ危機前の2019年第4四半期（以下、「危機前」と略）の水準を0.1%上回った。他方、製造業では輸送機器の落ち込みが激しく、2021年第4四半期は危機前の水準を6.5%下回った。一方、サービス分野では同四半期に情報・通信、金融・保険が危機前の水準をそれぞれ9.5%、9.0%上回り、危機による打撃が大きかった宿泊・外食と輸送・物流も、危機前の水準には及ばないものの、規制緩和を受けて同水準に近づいた。

政府は2020年9月に発表した総額1,000億ユーロの経済復興予算のうち、2021年末までに約720億ユーロの支出を決め、そのうち420億ユーロを拠出した（2022年2月の議会への報告）。経済復興資金として政府は「次世代のEU」と呼ばれる復興基金のうち、「復興レジリエンス・ファシリティー」の下で、2023年までに総額394億ユーロを受給する予定で、欧州委員会より2021年8月に51億ユーロ、2022年3月に74億ユーロの拠出を受けた。

フランス国立統計経済研究所（INSEE）は2022年7月29日、2022年の実質GDP成長率を2.5%と予測した。第1四半期はオミクロン株への対応として導入されたワクチンパスによる制限措置の影響などからマイナス0.2%となり、前期の0.6%から急減速した。第2四半期は規制緩和を受けて宿泊・外食サービス、輸送サービスが持ち直し、0.5%のプラスの伸びを取り戻した。家計最終消費支出は前期比0.2%減と2四半期連続で縮小したが、国内総固定資本形成は0.5%増と引き続き堅調だった。

INSEEは前述の2022年6月の発表で、景気の下振れリスクについて、ウクライナ侵攻の長期化に伴う対ロシア経済制裁の強化とそれに対するロシアの報復措置が、エネルギー、農産物など原材料価格の上昇を通じ国内の物価上昇と原材料の調達難に拍車をかける懸念があると指摘した。消費者物価上昇率は6月に前年同月比5.9%を記録した。9月は6.8%まで上昇し、12月まで6.5~7.0%の高い水準で推移する見通しだ。

表1 フランスの需要項目別実質GDP成長率

	2020年	2021年				2022年		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	
						伸び率	伸び率	
実質GDP成長率	△ 7.9	6.8	0.1	1.0	3.3	0.6	△ 0.2	0.5
家計最終消費支出	△ 6.8	5.2	0.3	1.2	5.8	0.5	△ 1.3	△ 0.2
政府最終消費支出	△ 4.0	6.4	△ 0.5	0.6	3.0	0.4	0.0	△ 0.2
国内総固定資本形成	△ 8.4	11.4	1.0	1.7	0.5	△ 0.1	0.5	0.5
財貨・サービスの輸出	△ 17.0	8.6	△ 0.6	2.9	2.3	2.8	1.6	0.8
財貨・サービスの輸入	△ 13.0	7.8	1.3	2.0	1.0	4.0	1.2	△ 0.6

〔注〕 四半期の伸び率は前期比。  
〔出所〕 フランス国立統計経済研究所 (INSEE)

## ■貿易赤字が拡大、航空機輸出の回復に遅れ

2021年の貿易は、輸出が前年比15.3%増の4,816億800万ユーロ、輸入は同19.0%増の5,942億6,700万ユーロと双方で増加した。貿易収支は1,126億5,900万ユーロの赤字となり、輸出より輸入の増加幅が大きかったため、貿易赤字は前年から309億8,000万ユーロ拡大した。

航空機・宇宙飛行体、飲料・アルコール・食酢、精油・調整香料・化粧品類、穀物などの品目で黒字額が前年から増加した。最大黒字品目の航空機・宇宙飛行体の黒字額は165億6,700万ユーロと前年を16.7%上回ったが、新型コロナ危機以前(2019年)の水準には届かなかった。医療用品の黒字額はワクチンの輸入増加を受けて前年からの縮小が続いた。最大の赤字品目である鉱物性燃料は、原油価格の高騰を背景に赤字額が450億3,300万ユーロと前年から189億1,000万ユーロ拡大した。

輸出を品目別にみると、上位3品目(原子炉・ボイラー・機械類、自動車、電気機器)は、それぞれ前年比10%以上増加した。航空機・宇宙飛行体(構成比5.4%)は2.2%増と小幅な増加にとどまった。エアバス航空機は177億9,600万ユーロ(引き渡し機数225機)と前年(160億8,900万ユーロ、190機)を上回ったが、2019年の6割弱の水準にとどまった。エアバス航空機は、アジア向けは85億2,300万ユーロと前年をおよそ32億7,900万ユーロ上回ったが、欧州、米州、アフリカで縮小した。プラスチック(4.5%)、飲料・アルコール類・食酢(3.9%)、精油・調整香料・化粧品類(3.9%)はいずれも20%前後の伸び率で大きく持ち直し、2019年の水準を上回った。前年に増加を記録した数少ない品目の1つ

表2 フランスの品目別輸出入

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年	2021年			2020年	2021年		
		金額	金額	構成比		伸び率	金額	金額
原子炉・ボイラー・機械類	48,266	53,322	11.1	10.5	62,624	71,320	12.0	13.9
自動車(鉄道用または軌道用除く)	38,706	42,992	8.9	11.1	57,574	64,325	10.8	11.7
電気機器	34,029	38,018	7.9	11.7	47,043	54,293	9.1	15.4
医薬品	33,271	33,048	6.9	△ 0.7	25,203	28,740	4.8	14.0
航空機・宇宙飛行体	25,613	26,188	5.4	2.2	11,419	9,621	1.6	△ 15.7
プラスチック	16,912	21,596	4.5	27.7	19,507	24,749	4.2	26.9
飲料・アルコール類・食酢	15,240	18,880	3.9	23.9	3,958	4,465	0.8	12.8
精油・調整香料・化粧品類	15,657	18,599	3.9	18.8	5,204	5,751	1.0	10.5
鉱物性燃料	8,087	15,880	3.3	96.4	34,210	60,913	10.3	78.1
鉄鋼	9,445	15,254	3.2	61.5	8,457	12,831	2.2	51.7
光学機器・写真用機器・映画用機器	14,204	14,565	3.0	2.5	17,636	19,719	3.3	11.8
各種化学工業製品	11,279	12,675	2.6	12.4	8,170	9,870	1.7	20.8
有機化学品	9,145	11,977	2.5	31.0	12,884	13,979	2.4	8.5
革製品・旅行用具・ハンドバッグ	7,991	10,059	2.1	25.9	3,832	4,327	0.7	12.9
真珠・貴石・貴金属	6,562	7,580	1.6	15.5	5,491	6,462	1.1	17.7
穀物	6,825	7,045	1.5	3.2	927	919	0.2	△ 0.9
鉄鋼製品	6,087	6,911	1.4	13.5	9,167	12,168	2.0	32.7
酪農品・鳥卵・天然はちみつ	6,323	6,766	1.4	7.0	3,773	4,210	0.7	11.6
衣類・衣類付属品(メリヤス編み除く)	5,075	5,898	1.2	16.2	9,679	10,121	1.7	4.6
紙および板紙・製紙用パルプ	5,008	5,820	1.2	16.2	7,103	7,865	1.3	10.7
ゴム	4,804	5,508	1.1	14.7	5,465	6,976	1.2	27.7
アルミニウム	3,959	5,237	1.1	32.3	5,178	7,012	1.2	35.4
穀物、穀粉、でん粉又はミルクの調製品及びベーカリー製品	4,229	4,686	1.0	10.8	3,639	3,926	0.7	7.9
合計(その他を含む)	417,839	481,608	100.0	15.3	499,518	594,267	100.0	19.0

〔注〕 EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。  
〔出所〕 フランス税関

である医薬品は前年並みの水準を維持した。

国・地域別では、輸出全体の55.0%を占めるEUが前年比17.7%増と増加に転じた。最大輸出相手国のドイツ(構成比14.3%)が12.7%増となったほか、主要相手国のイタリア(8.1%)、ベルギー(7.7%)がそれぞれ20.9%増、19.9%増の大幅増を示した。

EU域外で最大輸出相手国の米国(7.3%)は7.6%増と持ち直したが、2019年の水準には届かなかった。中国(6.0%)は28.5%増の伸びを示し、2019年の水準を上回った。英国(5.9%)は新型コロナ関連規制の強化と英国のEU離脱(ブレグジット)に伴う2020年12月末の移行期間終了をめぐる混乱の影響で2021年1月に激減したが、2月以降は緩やかに回復し、通年で5.0%増の伸びとなった。英国は前年に続き最大の貿易黒字相手国だった。

表3 フランスの主要国・地域別輸出入(再輸出を含む総額ベース)  
(単位:100万ユーロ、%)

	輸出(FOB)				輸入(CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率	
EU	224,878	264,658	55.0	17.7	275,263	325,729	54.8	18.3
ユーロ圏	194,394	228,828	47.5	17.7	239,341	284,100	47.8	18.7
ドイツ	60,982	68,750	14.3	12.7	71,728	80,977	13.6	12.9
イタリア	32,240	38,983	8.1	20.9	39,232	46,025	7.7	17.3
ベルギー	30,926	37,069	7.7	19.9	32,468	45,396	7.6	39.8
スペイン	30,887	36,410	7.6	17.9	35,396	41,983	7.1	18.6
オランダ	15,995	19,760	4.1	23.5	22,729	28,456	4.8	25.2
非ユーロ圏	30,484	35,830	7.4	17.5	35,923	41,629	7.0	15.9
ポーランド	9,272	11,937	2.5	28.7	11,316	13,539	2.3	19.7
スウェーデン	5,150	6,432	1.2	12.6	5,784	6,569	1.1	13.6
チェコ	4,230	4,955	1.0	17.1	6,688	7,625	1.3	14.0
ルーマニア	3,759	4,178	0.9	11.1	3,727	4,472	0.8	20.0
ハンガリー	3,793	3,865	0.8	1.9	4,207	4,827	0.8	14.7
英国	26,945	28,282	5.9	5.0	17,107	21,429	3.6	25.3
スイス	14,398	17,025	3.5	18.3	12,836	14,699	2.5	14.5
トルコ	6,295	7,337	1.5	16.6	7,785	9,145	1.5	17.5
ロシア	5,155	6,432	1.3	24.8	5,710	10,092	1.7	76.7
アジア大洋州	53,658	64,111	13.3	19.5	94,502	109,213	18.4	15.6
中国(香港含む)	22,681	29,135	6.0	28.5	57,007	64,345	10.8	12.9
ASEAN	11,530	12,448	2.6	8.0	16,446	18,000	3.0	9.5
シンガポール	7,023	7,158	1.5	1.9	2,165	2,105	0.4	△2.8
タイ	1,069	1,385	0.3	29.6	2,661	3,153	0.5	18.5
ベトナム	965	1,245	0.3	29.0	5,367	5,507	0.9	2.6
マレーシア	766	750	0.2	△2.1	2,384	2,998	0.5	25.8
日本	5,678	6,508	1.4	14.6	8,437	9,384	1.6	11.2
インド	4,236	5,883	1.2	38.9	4,817	6,713	1.1	39.4
韓国	4,794	4,782	1.0	△0.3	3,777	5,656	1.0	49.8
オーストラリア	2,671	2,922	0.6	9.4	709	965	0.2	36.1
北米	38,193	41,676	8.7	9.1	36,306	40,264	6.8	10.9
米国	32,460	34,929	7.3	7.6	30,850	33,862	5.7	9.8
アフリカ	22,239	23,191	4.8	4.3	19,184	25,661	4.3	33.8
モロッコ	4,106	4,536	0.9	10.5	5,013	6,189	1.0	23.5
アルジェリア	4,206	3,706	0.8	△11.9	2,685	4,323	0.7	61.0
チュニジア	2,561	3,055	0.6	19.3	3,681	4,264	0.7	18.8
ナイジェリア	528	612	0.1	15.8	1,802	2,902	0.5	61.0
中東	10,891	11,386	2.4	4.5	5,534	8,390	1.4	51.6
湾岸協力会議(GCC)諸国	8,226	8,560	1.8	4.1	3,998	6,075	1.0	51.9
中南米	6,326	7,843	1.6	24.0	6,181	7,344	1.2	18.8
ブラジル	2,903	3,245	0.7	11.8	2,438	2,885	0.5	18.3
合計(その他含む)	417,839	481,608	100.0	15.3	499,518	594,267	100.0	19.0

[注] ①アジア大洋州はASEAN+6(日本、中国、韓国、オーストラリア、ニュージーランド、インド)に台湾を加えた合計値。湾岸協力会議は、UAE、バーレーン、クウェート、オマーン、カタール、サウジアラビアの6カ国の合計値。北米は米国、カナダ、メキシコの3カ国の合計値。このため、中南米にメキシコは含まず。  
②軍需品は除く。  
③EU域外貿易は通関ベース、EU域内貿易は各企業のインボイス報告などに基づく。  
[出所] フランス税関

## ■原油価格の上昇を受け鉱物性

### 燃料の輸入が大幅増

輸入を品目別にみると、国内需要の回復を背景に、大半の主要品目で増加した。最大輸入品目の原子炉・ボイラー・機械類(構成比12.0%)は前年比13.9%増だった。続く自動車(10.8%)は11.7%増で、特に自動車部品の輸入が138億1,700万ユーロと22.1%増となった。

鉱物性燃料(10.3%)は78.1%増となった。石油が48.8%増、石油ガスが2.4倍、原油が62.5%増の大幅増となったが、エネルギー価格の上昇が輸入額を押し上げたもので、輸入量では、石油が1.4%増の3,666万トン、石油ガスが8.7%増の318万トン、原油が4.1%増の3,588万トンと、比較的小幅な伸び率にとどまった。

原材料価格の高騰に伴いプラスチック(4.2%)が26.9%増、鉄鋼(2.2%)が51.7%増、鉄鋼製品(2.0%)が32.7%増、ゴム(1.2%)が27.7%増、アルミニウム(1.2%)が35.4%増と軒並み急増した。医薬品(4.8%)は新型コロナワクチンを軸に14.0%増と前年から伸びを強めた。なお、マスクの輸入は政府支援により国内生産能力を拡大した結果、前年から88.0%減少した。政府によれば、マスクの国内生産能力は危機前の週当たり400万枚から2021年に1億枚超まで拡大した。

国・地域別にみると、主要国・地域からの輸入は軒並み増加した。全体の54.8%を占めるEUが前年比18.3%増となった。アジア大洋州（構成比18.4%）が15.6%増となった。フランス国内の消費回復に伴い、同地域からのコンピューターおよび周辺機器、スポーツ用品、ゲーム・玩具、家具、家電製品のほか、新型コロナに対応する医薬品、医療機器が2019年から2021年の間に増加した。中国（香港含む、10.8%）は12.9%増と前年から伸びが拡大した。

鉱物性燃料を主力とするロシア（1.7%）、中東（1.4%）からは、それぞれ76.7%増、51.6%増の大幅増を記録した。

### ■対内直接投資、外資規制の対象投資件数が328件に増加

フランス銀行によると、2021年の対内直接投資額（国際収支ベース、ネット、フロー）は228億800万ユーロと前年の18億8,600万ユーロから大幅増となった。企業買収や工場建設など株式に関わる直接投資額は328億5,400万ユーロと前年からほぼ3倍となった。再投資収益は65億ユーロと前年の引き上げ超過からプラスに転じた。海外の親会社からフランス子会社への貸付といった「その他の直接投資額」は前年に引き続き165億4,500万ユーロの引き上げ超過となった。

業種別にみると、製造業は52億7,800万ユーロと前年の引き上げ超過からプラスに転じた。製造業の内訳をみると、自動車が前年の20億800万ユーロから142億6,800万ユーロへとほぼ7倍となった。医薬と化学はそれぞれ、23億800万ユーロ、91億1,200万ユーロの引き上げ超過となった。

非製造業では金融・保険が109億3,200万ユーロと前年からほぼ倍増し、情報・通信が44億3,400万ユーロと前年の13億200万ユーロから大幅増を示す一方、商業・修理業、運送・倉庫業はいずれも引き上げ超過に転じた。

国・地域別にみると、EUが前年比94.4%増の221億7,900万ユーロだった。ユーロ圏は230億4,600万ユーロと前年の89億9,100万ユーロを大幅に上回った。首位となったオランダ、3位のスペイン、4位のルクセンブルクからの投資額が増加に貢献した。スペインの通信事業者セルネックス・テレコムは2021年10月、通信インフラ事業者イボリーの買収を完了したと発表した。買収額は52億ユーロで、セルネックスはイボリーを通じフランス国内の通信インフラ事業に進出し、さらに9億ユーロの追加

表4 フランスの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2020年	2021年		2020年	2021年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
金融・保険	5,618	10,932	94.6	15,465	△ 10,286	-
製造業	△ 3,913	5,278	-	△ 8,633	21,677	-
自動車	2,008	14,268	610.6	△ 1,095	1,637	-
衣類、繊維	236	918	289.0	17,345	△ 2,151	-
設備機械	△ 282	896	-	△ 385	356	-
その他の輸送機械	6,343	171	△ 97.3	△ 2,297	△ 88	-
情報・電子・光学機器	47	168	257.4	338	△ 1,196	-
ゴム・プラスチック	604	54	△ 91.1	228	29	△ 87.3
金属製品	△ 1,761	29	-	△ 1,088	△ 97	-
木材、製紙	561	△ 173	-	△ 45	47	-
精油	551	△ 284	-	△ 1,156	854	-
食品	△ 3,866	△ 551	-	△ 4,850	2,617	-
医薬	△ 7,317	△ 2,308	-	△ 15,208	1,654	-
化学	872	△ 9,112	-	△ 1,691	△ 256	-
情報・通信	1,302	4,434	240.6	△ 1,704	△ 31,518	-
テレコム	181	2,786	1,439.2	466	△ 2,852	-
情報関連サービス	542	1,618	198.5	△ 1,871	△ 341	-
専門的な知識・技術を必要とする法人向けサービス（法務・監査、コンサルタントなど）	2,477	2,024	△ 18.3	342	△ 1,785	-
不動産	364	1,038	185.2	1,688	7,535	346.4
建設	△ 1,428	474	-	△ 1,710	△ 470	-
電力・ガス・蒸気・空調	△ 1,990	320	-	5,719	3,429	△ 40.0
鉱業	△ 1,449	73	-	△ 4,236	△ 2,732	-
水・廃水処理、廃棄物処理、汚染浄化	△ 186	△ 114	-	2,973	580	△ 80.5
ホテル・レストラン	△ 679	△ 179	-	△ 2,615	114	-
商業・修理業	1,504	△ 2,339	-	△ 4,779	△ 1,345	-
運送・倉庫業	1,422	△ 3,875	-	5,100	1,492	△ 70.7
合計（その他含む）	1,886	22,808	1,109.3	7,400	13,118	77.3

[出所] フランス銀行



投資を行う方針を明らかにした。EU域外では、2位の米国が61億1,900万ユーロ、7位の英国が16億6,000万ユーロと前年の引き揚げ超過からプラスに転じた。中国（香港を含む）は22億9,600万ユーロの引き揚げ超過となった。米国アマゾンでは2021年9月、モゼル県オルニーに物流センターを開設した。フランス政府はコロナ禍での国益保護の観点からの外資規制の強化策として、2021年11月、事前認可の対象となる欧州経済領域（EEA）外の企業が所有するフランスの上場企業の議決権の比率を25%超から10%超に引き下げる特例措置を、2022年12月まで継続すると発表した。経済・財務・復興省財務総局の2022年3月の発表によれば、2021年に事前認可の審査対象となった投資件数は328件で前年の250件から増加した。審査の結果、124件が認可されたが、このうち67件は条件付きでの認可となった。

表5 フランスの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース、ネット、フロー>

(単位：100万ユーロ、%)

	対内直接投資			対外直接投資		
	2020年	2021年		2020年	2021年	
	金額	金額	伸び率	金額	金額	伸び率
欧州	8,835	14,511	64.2	7,708	14,136	83.4
EU	11,411	22,179	94.4	5,478	11,288	106.1
ユーロ圏	8,991	23,046	156.3	7,056	9,104	29.0
オランダ	7,534	10,827	43.7	△ 2,634	2,192	-
スペイン	△ 2,311	5,853	-	△ 6,066	2,335	△ 138.5
ルクセンブルク	1,358	5,088	274.7	2,680	△ 51	-
ベルギー	△ 2,747	2,016	-	4,461	2,473	△ 44.6
ドイツ	4,006	1,525	△ 61.9	438	3,215	634.0
イタリア	△ 1,730	△ 1,915	-	4,323	△ 209	-
非ユーロ圏	△ 7,105	△ 238	-	344	4,013	1,066.6
ポーランド	1,717	120	△ 93.0	△ 993	596	-
チェコ	△ 147	3	-	108	258	138.9
ルーマニア	11	△ 12	-	498	143	△ 71.3
英国	△ 4,814	1,660	-	3,965	2,541	△ 35.9
スイス	1,319	△ 9,541	-	△ 2,258	3,625	-
ロシア	156	△ 8	-	2,262	△ 514	-
トルコ	53	△ 30	-	349	△ 30	-
米州	△ 6,776	9,539	-	△ 8,966	3,835	-
米国	△ 5,958	6,119	-	△ 3,873	△ 2,899	-
カナダ	△ 417	3,234	-	△ 6,114	5,652	-
中近東	1,374	706	△ 48.6	1,174	1,008	△ 14.1
アフリカ	△ 65	155	-	1,233	△ 1,265	-
アジア	937	△ 1,678	-	8,420	△ 1,061	-
韓国	△ 41	597	-	277	96	△ 65.3
シンガポール	△ 563	133	-	3,030	△ 3,620	-
インド	32	△ 2	-	3,017	304	△ 89.9
日本	532	△ 130	-	△ 322	△ 416	-
中国（香港含む）	214	△ 2,296	-	958	1,077	12.4
合計（その他含む）	1,886	22,808	1,109.3	7,400	13,118	77.3

[出所] フランス銀行

## ■対外直接投資、EU向けを軸に77.3%増

フランス銀行によると、2021年の対外直接投資額は131億1,800万ユーロと前年から77.3%増加した。株式資本に関わる直接投資額は前年の108億6,100万ユーロから36億3,300万ユーロの引き揚げ超過に転じた。再投資収益は242億ユーロとなり、前年の引き揚げ超過から大幅な増加を示した。他方、フランスの親会社から海外子会社への貸付といった「その他の直接投資」は、前年の98億2,400万ユーロから、74億5,000万ユーロの引き揚げ超過に転じた。

業種別にみると、前年は引き揚げ超過だった製造業が216億7,700万ユーロとプラスに転じた。製造業の内訳をみると、食品が26億1,700万ユーロ、医薬が16億5,400万ユーロ、自動車が16億3,700万ユーロとなる一方、衣類・繊維、情報・電子・光学機器はそれぞれ21億5,100万ユーロ、11億9,600万ユーロの引き揚げ超過となった。非製造業では情報・通信、金融・保険が大幅な引き揚げ超過を計上した。

国・地域別にみると、EUが112億8,800万ユーロと前年からほぼ倍増した。ユーロ圏は前年比29.0%増の91億400万ユーロだった。3位のドイツが32億1,500万ユーロと前年の7倍強となったほか、6位のスペインと7位のオランダがそれぞれ23億3,500万ユーロ、21億9,200万ユーロと前年の引き揚げ超過から大幅なプラスに転じた。7月に光学機器エシロールルックスオティカがオランダの眼鏡販売ブランドビジョンの株式76.72%を取得した案件や、12月に建設バンシがスペインの同業ACSグループのエネルギー事業を買収した案件が寄与したとみられる。EU域外では、前年引き揚げ超過だったカナダとスイスがそれぞれ1位と2位に浮上し、4位の英国が前年比35.9%減の25億4,100万ユーロと

なった。

2021年のM&A以外の案件では10月、ベオリアがブラジルの3つの廃棄物処理工場に設置したバイオガス発電所を稼働したほか、ジオディスが英国2カ所に物流センターを新設した（発表は11月）。

表6 フランスの主な対内直接投資案件（2021年1月～2022年5月）

＜M&A以外＞						
業種	企業名	国籍	時期	投資額	概要	
石油化学	イネオス	英国	2021年10月	20億ユーロ（フランス以外への投資額を含む総額）	イネオスは10年間でノルウェー、ドイツ、ベルギー、英国、フランスにグリーン水素製造工場を建設すると発表した。	
製紙	ノルスケ・スコグ	ノルウェー	2021年6月	2億5,000万ユーロ	ノルスケ・スコグはゴルベイ工場の設備を近代化し、コスト競争力のあるCO <sub>2</sub> 排出量が少ない段ボール製造能力を拡大すると発表した。20人を新規雇用し、2026年後半にフル稼働する予定。	
情報・通信機器	ファーウェイ	中国	2021年1月	2億ユーロ	ファーウェイは欧州市場向けワイヤレス機器の部品工場の着工式を行った。東部ストラズブル近郊のプリュマト工業団地に建設される同工場は2023年に稼働し、当初は300人、長期的には500人の新規雇用を創出する予定。	
製薬	エボテック	ドイツ	2021年4月	1億5,000万ユーロ	エボテックはツールーズにバイオ治療薬の製造工場を建設すると発表した。フランス政府やオクシタニー地域圏などから総額5,000万ユーロの公的支援を受ける。	
流通	アマゾン	米国	2021年9月	非公表	グラン・テスト地域圏は、アマゾンがモゼル県オルニーに物流センターを9月23日に開設し、278人の正規雇用を創出したと発表。アマゾンは2021年5月、同センターを開設予定であり、3年間に1,000人の正規職員を雇用する旨、発表していた。	
＜M&A＞						
被買収企業（事業）		買収企業		時期	投資額	概要
業種	企業名	企業名	国籍			
通信インフラ	イボリー	セルネックス・テレコム	スペイン	2021年10月	52億ユーロ	通信事業者セルネックス・テレコムは通信インフラ事業者イボリーの買収を完了したと発表した。8年間にインフラ整備に9億ユーロを追加投資する。
医薬	HRAファーマ	ペリゴ・グループ	アイルランド	2022年5月	18億ユーロ	ペリゴ・グループはセルフケア製品を製造するHRAファーマの買収を完了したと発表した。
化学	アルケマ	トリンセオ	米国	2021年5月	11億3,700万ユーロ	トリンセオはアルケマのアクリル樹脂（PMMA）事業の買収を完了したと発表した。トリンセオのアジア太平洋地域の既存顧客へのソリューションを提供することを指す。
塗料	クロモロジー	日本ペイント	日本	2022年1月	11億2,800万ユーロ	日本ペイントホールディングスは、欧州で建築用塗料等の製造・販売を手掛けるクロモロジーの株式を、英国に新設した子会社DGLインターナショナルを通じて取得完了し、孫会社化した旨を発表した。欧州主要都市での市場拡大を狙い。
エネルギー	RESメディアテラネ	ハンファ	韓国	2021年11月	非公表	ハンファは再生可能エネルギー事業者RESの親会社であるRESメディアテラネの株式100%取得を完了したと発表した。買収により、欧州での風力発電プロジェクトを初めて所有するなど、欧州におけるポートフォリオを強化する。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表7 フランスの主な対外直接投資案件（2021年）

＜M&A以外＞						
業種	企業名	投資先国	時期	投資額	概要	
製薬	サノフィ	カナダ	2021年3月	6億ユーロ超	サノフィはトロント工場の敷地内にカナダ・米国・欧州市場向けインフルエンザのワクチンの製造施設を新設すると発表した。2026年の稼働を目指す。	
産業ガス	エアリキード	中国	2021年6月	7,000万ユーロ	エアリキードはエレクトロニクス産業が集積する武漢市で、最新鋭技術による高純度ガスの製造工場を建設し、顧客である中国の半導体メーカーに供給すると発表した。2022年に稼働予定。	
化学	アルケマ	中国	2021年2月	非公表	アルケマは2021年2月、中国の常熟市にあるフッ素樹脂工場を拡張し、2022年末までに生産能力を35%（2022年1月に50%へと上方修正）増強すると発表した。	
廃棄物処理	ベオリア	ブラジル	2021年10月	非公表	ベオリアは、ブラジルの3つの廃棄物処理工場に設置したバイオガス発電所を稼働したと発表した。発電容量は合わせて12.4MW。	
物流	ジオディス	英国	2021年11月	非公表	ジオディスは2021年10月に英国2カ所に新たな物流センターを開設したと発表した。欧州第3の小売市場である英国で、Eコマースの隆盛に伴う需要増に対応する。	
＜M&A＞						
買収企業		被買収企業（事業）		時期	投資額	概要
企業名	業種	企業名	国籍			
エシロールックスオティカ	メガネ販売	グランドビジョン	オランダ	2021年7月	72億ユーロ	エシロールックスオティカはHALオプティカル・インベストメンツからグランドビジョンの株式76.72%を取得したと発表した。販売網を補完する。
アルストム	鉄道車両製造	ボンバルディア	カナダ	2021年1月	55億ユーロ	アルストムはボンバルディアの鉄道事業の買収を完了したと発表した。モビリティ市場でのリーダーシップを強化し、グリーン輸送への需要に応える。
パンシ	建設	ACS	スペイン	2021年12月	49億ユーロ	パンシはACSのエネルギー部門および進行中の再生可能エネルギープロジェクトの買収を完了したと発表した。
ラクタリス	食品	クラフトハイツ	米国	2021年11月	33億ドル	クラフトハイツは、北米市場での成長を目指すラクタリス・グループ傘下の企業へのチーズ事業の一部売却を完了したと発表した。
クレディ・アグリコル・アシュランス	エネルギー	FTソラレ	イタリア	2021年1月	非公表	クレディ・アグリコル・アシュランスはイタリアの太陽光エネルギー事業FTソラレの株式30%をイタリアのインフラファンドF2ISgrから取得することで合意したと発表した。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

## ■対日貿易は輸出入ともに増加、医薬品輸入は2年連続で大幅増

2021年の対日貿易は、輸出が前年比14.6%増の65億800万ユーロ、輸入は11.2%増の93億8,400万ユーロとなった。対日貿易赤字は28億7,600万ユーロと前年から約1億1,700万ユーロ拡大した。フランスの貿易全体に占める日本の構成比は、輸出が1.4%、輸入が1.6%で、輸出は前年から横並び、輸入は0.1ポイント減少した。

対日輸出は最大品目の航空機・宇宙飛行体（構成比23.1%）が15億300万ユーロと前年から2.2倍となった。飲料・アルコール・食酢（10.2%）は7.8%増と前年の減少から増加に転じたが、医薬品（6.1%）、革製品・旅行用具・ハンドバッグ（4.6%）、自動車（3.5%）、電気機器（3.4%）などは前年に引き続き減少となった。

日本からの輸入は原子炉・ボイラー・機械類（構成比25.2%）、自動車（23.0%）、電気機器（14.7%）、光学機器・写真用機器、映画用機器（6.4%）、医薬品（5.0%）の上位5品目が全体の74.3%を占めた。原子炉・ボイラー・機械類が13.1%増、自動車が5.4%増、電気機器が19.9%増といずれも前年の減少から増加に転じた。医薬品は49.9%増と前年に続き大幅な伸びを示した。

表8 フランスの対日主要品目別輸出入 <通関ベース>

(単位：100万ユーロ、%)

	輸出 (FOB)				輸入 (CIF)			
	2020年		2021年		2020年		2021年	
	金額	金額	構成比	伸び率	金額	金額	構成比	伸び率
航空機・宇宙飛行体	680	1,503	23.1	121.0	20	18	0.2	△ 11.2
飲料・アルコール・食酢	614	661	10.2	7.8	34	57	0.6	67.2
原子炉・ボイラー・機械類	422	427	6.6	1.1	2,094	2,369	25.2	13.1
医薬品	498	397	6.1	△ 20.3	310	465	5.0	49.9
革製品・旅行用具・ハンドバッグ	314	299	4.6	△ 4.6	4	5	0.0	3.7
精油・調整香料・化粧品類	250	274	4.2	9.4	49	47	0.5	△ 3.5
自動車（鉄道用または軌道用除く）	288	225	3.5	△ 22.1	2,045	2,155	23.0	5.4
光学機器・写真用機器・映画用機器	227	220	3.4	△ 3.1	575	603	6.4	5.0
電気機器	246	218	3.4	△ 11.4	1,152	1,382	14.7	19.9
衣類・衣類付属品（メリヤス編み除く）	146	189	2.9	29.5	31	30	0.3	△ 3.6
有機化学品	175	166	2.5	△ 5.4	226	233	2.5	3.0
各種化学工業製品	162	163	2.5	1.0	289	289	3.1	0.1
プラスチック	136	157	2.4	15.6	186	214	2.3	15.5
真珠・貴石・貴金属	124	133	2.1	7.5	7	8	0.1	9.8
酪農品・鳥卵・天然はちみつ	87	89	1.4	2.9	0	0	0.0	143.5
玩具・ゲーム・スポーツ用品	13	13	0.2	△ 0.1	199	218	2.3	9.5
合計（その他含む）	5,678	6,508	100.0	14.6	8,437	9,384	100.0	11.2

〔出所〕 フランス税関

## ■対日直接投資は引き揚げ超過を計上

フランス銀行の国際収支統計によれば、2021年のフランスにおける日本からの直接投資受入額は1億3,000万ユーロの引き揚げ超過だった。株式資本に関わる直接投資額は前年から微減の7,000万ユーロとなった。再投資収益は1億500万ユーロと前年から倍増した。その他の直接投資は3億600万ユーロの大幅な引き揚げ超過に転じた。

ブランド品買取・販売のバリュエンスグループは2021年1月、グループ傘下のバリュエンスインターナショナルヨーロッパを通じパリ市にフランス初の店舗を開設した。2021年のM&A案件では、伊藤忠商事が3月、欧州を中心に植物油製造・販売事業を展開するプロバンス・ユイルの株式を追加で取得し完全子会社化した。また三菱総合研究所は4月、ビッグデータ解析のフォアパスと企業のデータ駆動経営を支援することで合意し、同社が発行する転換社債型新株予約権付社債を引き受けたと発表した。日本ペイントホールディングスは10月、欧州で建築用塗料などの製造・販売を手掛けるクロモロジーの株式資本を、英国に新設した子会社DGLインターナショナルを通じて取得し孫会社化すると発表、翌年1月には11億2,800万ユーロで取得完了した。

2021年の対日直接投資額は4億1,600万ユーロの引き揚げ超過を計上した。株式資本に関わる直接投資額は前年の7,400万ユーロから6,000万ユーロの引き揚げ超過に転じた。再投資収益は3億9,700万

ユーロとプラスに転じたが、その他の直接投資額は前年に引き続き7億5,400万ユーロの引き揚げ超過だった。

化粧品ロリアルは2021年2月、スキンケア製品を製造販売するタカミの買収を完了したと発表した。タカミの専門知識と販売網により、ポートフォリオを補完する。物流ボロレ・ロジスティクスは11月、顧客へのきめ細かいサービス提供を目的に名古屋支店を開設した。

## 主要経済指標

	2019年	2020年	2021年
①人口：6,781万人(2022年1月、暫定値)			
②面積：63万2,733km <sup>2</sup> (2018年)			
③1人当たりGDP：4万4,853米ドル (2021年)			
④実質GDP成長率 (%)	1.8	△ 7.9	6.8
⑤消費者物価上昇率 (%)	1.1	0.5	1.6
⑥失業率 (%)	8.2	8.1	7.4
⑦貿易収支 (億ユーロ)	△ 780	△ 817	△ 1,127
⑧経常収支 (億ユーロ)	125	△ 415	90
⑨外貨準備高 (グロス) (100万米ドル)	69,725	76,114	101,703
⑩対外債務残高 (グロス) (100万ユーロ、期末値)	5,717,176	6,081,944	6,405,983
⑪為替レート (1米ドルにつき、 ユーロ、期中平均)	0.8933	0.8755	0.8455

〔注〕 ⑥：フランス本土のみ、各年第4四半期の数値、⑧：国際収支ベース  
 〔出所〕 ①②④⑤⑥：フランス国立統計経済研究所 (INSEE)、⑦：フランス税関、⑧⑩：フランス中央銀行、③⑨⑪：IMF

(お問い合わせ先)

海外調査部 欧州ロシア CIS課

ORD@jetro.go.jp